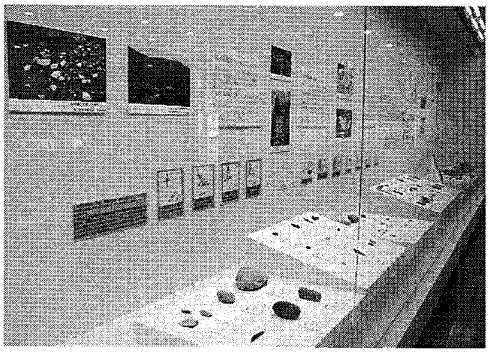
「土に残る記憶-旧石器と縄文-」展

（1）趣旨

旧石器時代（今から1万年以上前）は、たいへん寒い気候でした。

そのため、当時生きていた動物や植物も現在の日本では目にすることができないものもあります。



そのような時代に暮らした人々の生活の様子を復元するため、当時の自然環境や彼らが動物の骨や石で作った道具などといった、遺跡に残されたものに注目しました。また、岐阜県で発見された貴重な縄文時代の出土品などもあわせて展示しました。また、学校の学習活動と連携し、出土品など手でさわったり、遊ぶことのできるコーナーや様々な体験講座などを行いました。

(2) 会期　2003（平成15）年4月23日（水）～5月25日（日）　＜29日間＞

(3) 観覧料　200円（150円）、小中学生100円（50円）

（　）は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会場　企画展示室

(5) 展示点数　85点

(6) 関連事業

①ミュージアムフォーラム

(2003年5月10日（土）14：00～15:30/会場：緑のホール/参加料無料)

「戸入村平遺跡の発掘調査」坂東　肇氏　元（財）岐阜県文化財保護センター

「美濃加茂市の旧石器時代遺跡」当館学芸員

②体験講座

「つくってみよう・つかってみよう-縄文人体験-」

（2003 年 5 月 18 日（日）13：00 ～ 16:00/会場：実習棟テラスほか/参加料無料）

③アートな 1 日講座

「縄文アート（勾玉（まがたま）アクセサリー）」

（2003 年 5 月 25 日（日）13：00 ～ 16:00/会場：工芸室/参加料 500 円）

④ミュージアムトーク

（2003 年 4 月 27 日（日）・5 月 4 日（日）11：00 ～ 12:00・14:00 ～ 15:00/会場：企画展示室/参加料　企画展観覧料）